

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 06175586
PUBLICATION DATE : 24-06-94

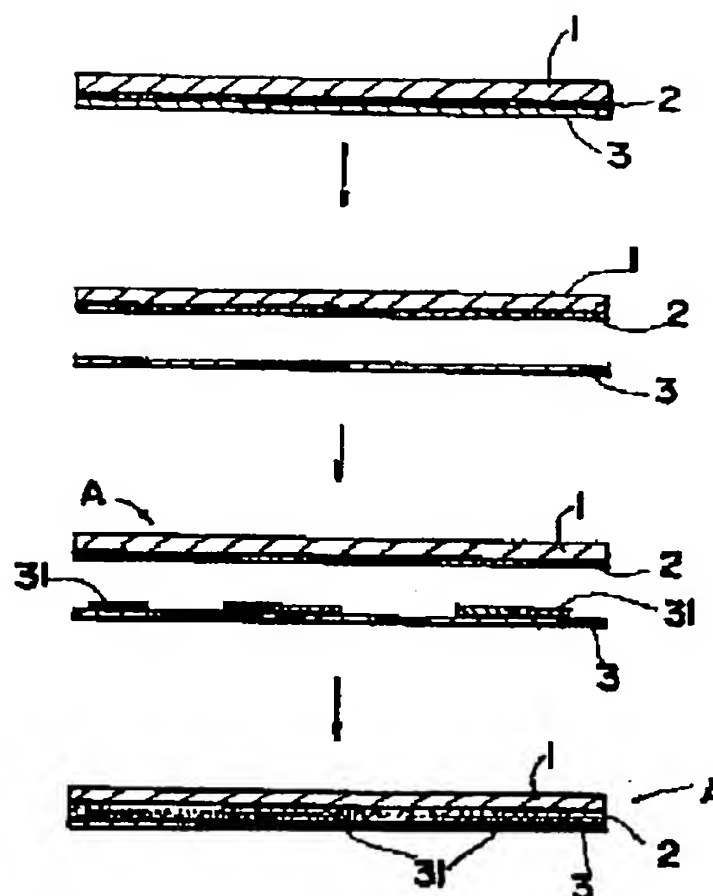
APPLICATION DATE : 01-12-92
APPLICATION NUMBER : 04343537

APPLICANT : TAMANO MIKIO;

INVENTOR : TAMANO MIKIO;

INT.CL. : G09F 3/10 B31D 1/02 G09F 3/00
G09F 3/02

TITLE : TACKY ADHESIVE LABEL AND ITS
PRODUCTION



ABSTRACT : PURPOSE: To form the tacky adhesive label in such a manner that printing ink and separator can maintain specified adhesive power at all times by subjecting a separator surface to printing display at the time of producing the tacky adhesive label having the printing display formed on the coating surface side of an adhesive.

CONSTITUTION: This process for production of the tacky adhesive label consists in separating label raw paper to label paper 1 having the coating surface of the adhesive 2 formed on the rear surface and the separator 3, then subjecting the separator surface to the printing display and drying the printing display to impart the force to tightly adhere the printing ink and the separator 3, then laminating the separator 3 and the label paper 1 so that the printing display formed on the separator surface can be transferred to the coating surface of the adhesive 2. Then, the printing display is freely removably stuck to the separator surface and the entire part of the separator including the printing display surface is stuck to the label paper 1 and, therefore, the adhesive power of the adhesive 2 is not hindered.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-175586

(43) 公開日 平成6年(1994)6月24日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F 1	技術表示箇所
G 0 9 F 3/10		II 7028-5G		
B 3 1 D 1/02		A 8513-3E		
G 0 9 F 3/00		E 7028-5G		
3/02		F 7028-5G		

審査請求 有 請求項の数 2 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平4-343537

(22) 出願日 平成4年(1992)12月1日

(71) 出願人 592263780

玉野 美樹雄

千葉県千葉市美浜区高洲3丁目5番4棟
1406

(72) 発明者 玉野 美樹雄

千葉県千葉市美浜区高洲3丁目5番4棟
1406

(74) 代理人 弁理士 橋高 郁文

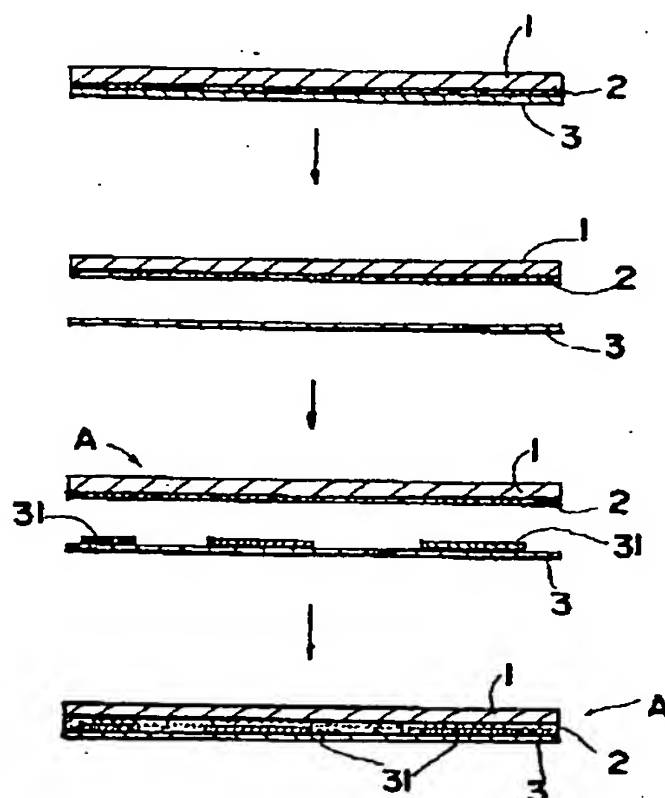
(54) 【発明の名称】 粘着ラベル及びその製造方法

(57) 【要約】

【目的】 接着剤の塗布面側に印刷表示を形成した粘着ラベルを製造するに際し、セバレータ面に印刷表示を行って印刷インクとセバレータとが常に一定の接着力を維持できるようにする。

【構成】 ラベル原紙を裏面に接着剤の塗布面を形成したラベル紙とセバレータとに分離した後セバレータ面に印刷表示を行い、印刷表示を乾燥させて印刷インクとセバレータとが密着する力を与えたのち、セバレータとラベル紙とをラミネートし、セバレータ面に形成した印刷表示を接着剤の塗布面上に転移できるようにした粘着ラベルの製造方法。

【効果】 セバレータ面に印刷表示を剥離自在に付着させ、この印刷表示面を含むセバレータ全体をラベル紙に貼着するので接着剤の接着力が阻害されない。



【特許請求の範囲】

【請求項1】裏面に接着剤を塗布したラベル紙と、ラベル紙の接着剤塗布面に剥離自在に貼着するセバレータとの組み合わせからなる粘着ラベルであり、前記セバレータ面に印刷表示を形成して印刷インクとセバレータとの剥離力を維持させ、当該印刷表示面を接着剤の塗布面上に転移可能に付着させた粘着ラベル。

【請求項2】ラベル原紙を、裏面に接着剤を塗布したラベル紙と、セバレータとに分離し、ラベル紙と当接するセバレータ面に所定の印刷表示面を形成し、この印刷表示面を乾燥させてセバレータに対して密着する力を付与した後、ラミネート手段によりセバレータとラベル紙とを貼着し、セバレータ面に形成した印刷表示面を接着剤の塗布面に転移可能に付着させることを特徴とする粘着ラベルの製造方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は裏面に接着剤を塗布したラベル紙と、ラベル紙の裏面に貼着し接着剤の塗布面を保護するセバレータとで構成する粘着ラベルに関するものである。

【0002】

【従来技術】ラベル紙の裏面に形成した接着剤の塗布面をセバレータで保護し、使用時にセバレータを剥離して貼着するよう構成した粘着テープは従来より周知である。

【0003】これらの粘着テープは、ラベル紙の表面に所望の印刷を施し当該印刷面を表側に位置させて使用するのが一般的である。

【0004】しかしながら、このような構造の粘着ラベルは印刷表示部がラベル紙の表面に表れるため自動車のウインドウガラスの内側面に貼着するステッカーのように貼着面側からガラスを通して印刷面を表示するという使用方法を講ずることができなかった。

【0005】これらの欠点を解決するものとして実公昭58-46429号公報に記載されるように、ラベル紙の裏面に形成した接着剤の塗布面上に印刷を施し、この印刷面をセバレータを貼着するよう構成した粘着ラベルが提案された。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】上記実公昭58-46429号公報に開示される粘着ラベルは、ガラスの内側面に貼着しこのガラス面を通して印刷面を表側に表示することや、透明なラベル紙の裏面に印刷面を形成することにより貼着対象物に貼着後のラベルの印刷面を汚損したり不正に変造されることが少ないという点で優れているが、この構造のラベルは接着剤の塗布面のうち印刷表示を行った部分（印刷インクが乗っている部分）はセバレータに対する接着力が失われるため、セバレータに密着する力（この力を当業界では「剥離力」と称してい

る。）が失われてしまいラベル紙が本来的に有する正確な剥離力が期待できなくなるという欠点があった。

【0007】特に、接着剤の塗布面に施す印刷面積が大きくなると（剥離力のない面積が大きくなると）有効に作用する接着剤の塗布面積が狭められるため上記欠点は一層顕著に表われ、接着剤の塗布面に印刷を行った後のラベル紙をセバレータにラミネートしても印刷を行った部分がセバレータ面から浮き上がりを生じ、ラミネート後のラベル紙の表面に爾後の印刷処理を施すことが困難となる等のトラブルを惹起していた。

【0008】

【発明の目的】本発明はこれらの問題を解決しようとするものであり、セバレータの表面に印刷表示を行うことにより、印刷部分（印刷インクの付着部分）とセバレータとが剥離自在に密着する力（剥離力）を高めることが可能となり、しかも印刷表示部に対してもラベル紙の裏面側に塗布した接着剤の接着力を発揮できるよう構成した粘着ラベルの製造方法を提供することを目的としている。

【0009】

【発明の要点】本発明はラベル原紙を、裏面に接着剤を塗布したラベル紙と、セバレータとに分離し、ラベル紙と当接するセバレータ面に所定の印刷表示面を形成した後この印刷表示面を乾燥させセバレータ面に印刷インクを密着させ、次いで、ラミネート手段によりセバレータとラベル紙を再び貼着し、貼着時にセバレータ面に形成した印刷表示面を接着剤の塗布面に転移可能に付着させることを特徴とする粘着ラベル及びその製造方法を発明の要点としている。

【0010】

【実施例】以下本発明の製造方法を工程図を参照して説明する。

【0011】本発明の粘着ラベルAは既製のラベル原紙を用いて製造するものであり、先ず既製のラベル原紙を、裏面に接着剤2を塗布したラベル紙1と、セバレータ3とに分離する。

【0012】ラベル紙1と分離されたセバレータ3は印刷機に案内され、ラベル紙1に貼着する面に所定の印刷表示31…31を行った後、当該印刷表示31…31面に紫外線ランプ等を照射しセバレータ3上の印刷インクを速やかに乾燥させてセバレータ3と印刷インクとの剥離力（密着する力）を発揮させる。

【0013】印刷表示31…31面の印刷インクを乾燥させることにより印刷インクとセバレータ3との剥離力を発揮させたセバレータ3は公知のラミネート手段によりラベル紙1の裏面に一体化させる。

【0014】ラミネート手段によりセバレータ3の面をラベル紙1の面に強く圧接させるとセバレータ3面に印刷した印刷表示31…31はラベル紙1の裏面に塗布した接着剤2の塗布面上に転移可能な状態で密着し、粘着ラベ

ルの製造を完了する。

【0015】なお、印刷表示31…31を形成した後のラベル紙1は公知の手段に従って所定大きさの切り込み線（剥離線）を刻切し、爾後の使用に備える。

【0016】

【発明の効果】本発明は上記のようにセバレータ3の面に印刷表示31…31面を形成し、この印刷表示31…31面の印刷インクを乾燥させながらセバレータ3に対して密着する力（剥離力）を高めたのち印刷表示31…31面を含むセバレータ3全体をラベル紙1の裏面（接着剤2の塗布面）に貼着（ラミネート）するよう構成したので、接着剤の塗布面に印刷表示を行ったものをセバレータに貼着する従来構造のように印刷表示面とセバレータとが当接する部分の密着力（剥離力）がラミネート当初から失われることがない優れた効果を発揮できる。

【0017】しかもセバレータ3面に形成された印刷表示31…31は、セバレータ3に対する剥離力を維持しているが、ラベル紙1の裏面に塗布した接着剤2に対する接着も行われているため、ラベルを使用するためセバレータ3を強制的に剥離するとセバレータ3上の印刷表示31…31は接着剤2の塗布面に付着して転移することが保証され従来の粘着ラベルと同様の使用方法を講ずることが

可能となる。

【0018】特に本発明によれば印刷表示31…31面はセバレータ3面に一定の強さで密着する力（剥離力）を持ちながら付着しているため、印刷表示31…31の面積が大きい場合でもラベル紙1の裏面に密着する力（接着剤2の塗布面に密着する力）は当初より予定された力をそのまま維持できることとなり、接着剤の塗布面に直接印刷を行っていた従来構造の粘着ラベルのように、印刷表示面積が大きい場合にはラベル紙とセバレータとをラミネートした後でラベル紙の浮き上がりを生ずることがなくなり、爾後の印刷処理を正確に行えるという優れた接着効果を発揮できる。

【図面の簡単な説明】

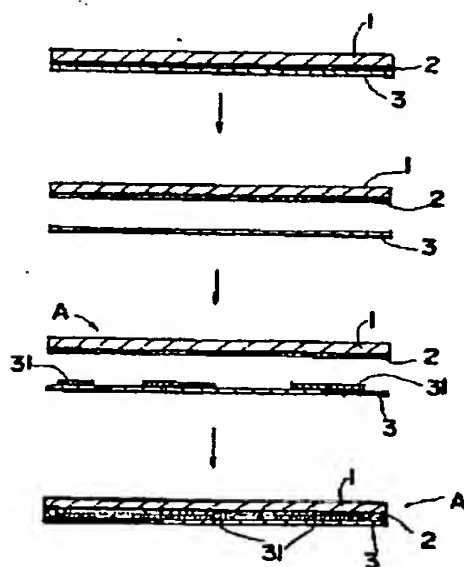
【図1】 本発明の製造方法を示す工程図。

【図2】 完成品からセバレータを剥離して示す断面図。

【符号の説明】

- A 粘着ラベル
- 1 ラベル紙
- 2 接着剤
- 3 セバレータ
- 31 印刷表示

【図1】



【図2】



THIS PAGE BLANK (USPTO)